

栗東市市民社会貢献活動促進基金補助金(元気創造まちづくり事業)助成申請書

令和 8 年 月 日

【申請書提出の際の注意事項】

- ▶ ホッチキス止めはしないでください。
- ▶ 両面印刷はしないでください。
- ▶ 修正液は使用しないでください。

運営委員会

栗東市市民社会貢献活動促進基金補助金助成を受けたいので、関係書類を添えて申請します。

団体名をそのまま記入するのは×
インパクトがあり、且つ見ただけで内容
が想像できるような事業名を

団 体 名 子育てラボ すくらむ
代 表 者 氏 名 栗 東 太 郎

1、事業概要

事業名	RITTO イクパパ プロジェクト		
事業概要 具体的内容がわかるよう 200 字程度で まとめてください	母と父がともに育児に参加し、子どもの豊かな人間性をはぐくめるよう、栗東市内に点在する自然を生かし「パパカ」を発揮できるイベントを実施します。 また、育児が地域に目を向けるきっかけにつながるよう「親子 de 防災訓練」事業を実施します。		
実施期間	令和 9 年 4 月 1 日 ~ 令和 10 年 3 月 31 日		
申請額	200,000 円		
事業の分野 ※該当する事業の分野に○をしてください(複数可)。事業分野が複数の場合、主となる事業分野 1 つに◎をしてください。	1. 保険・医療・福祉	8. 平和・人権	15. 職業支援
	2. 社会教育	9. 国際協力	16. 消費者の保護
	3. まちづくり	◎ 10. 男女共同参画	17. 団体の運営又は活動に関する連絡、助言
	4. スポーツ・芸術・文化	◎ 11. 子どもの健全育成	18. その他 ()
	5. 環境	12. 情報社会	
	6. 災害救援	13. 科学技術	
	◎ 7. 地域安全	14. 経済活動	
継続希望の有無	◎ 有 . 無		

令和 9 年 4 月 1 日 ~
令和 10 年 3 月 31 日までの日

対象経費の 3/4 以内
上限は 20 万円

継続して助成を希望
する場合は有に◎

2. この事業の担当者(いつも連絡がつく人を記入してください)

ふりがな	くりた じろう		
氏名	栗田 次郎		
連絡先	住所	〒520-3088 栗東市安養寺一丁目 13 番 33 号	
	TEL / FAX	077-551-0290	
	E - Mail	jichishinko@city.ritto.lg.jp	
連絡可能手段(○をしてください)	◎ 電話	FAX	メール
	希望時間帯	午前中	

★P2～P5において、事業の目的⇒内容⇒効果⇒展開とストーリーが繋がるように記入してください。

3. 事業計画

現状分析 事業の目的	記入にあたってのポイント ① 地域における課題解決のための活動であるか ② 自分たちのまちを住みやすい環境にするための活動であるか ③ 活動メンバーのみの趣味活動ではなく、多くの人に理解や共感が得られる活動であるか ④ 公共性、公益性のある活動であるか
・地域の現状や課題は何ですか。(活動をするに至る地域課題や、その背景を簡潔に記入してください)	
<p>平日の昼間に子育てをしている母親は、児童館などを利用するなかで、自ら地域での子育てコミュニティを構築していくことができますが、働いている父親や母親はそういった機会が少なく、育児の悩みや楽しさを共有しづらい環境にあります。</p> <p>また、母親だけで子育てをする環境は孤独や疎外感という感情を生み出す恐れがあり、楽しんで子育てをするという気概を阻害したり、虐待につながったりと子どもに悪影響を及ぼす可能性も秘めています。</p> <p>全国的に父親も育児に参加する気運は高まっているものの、「母親の育児の負担の軽減」に重きを置かれ、父親が育児に参加することへのメリットが最大限に生かされていません。</p>	
・活動の目的や目標を記入してください。	
<p>自然をフィールドにした父親の特性を生かせる子育てイベントを実施することで、父親が子育てに関心を持つきっかけをつくり、子育ての楽しさを感じてもらうことを目的とします。また、父親の育児への参画を、母親の育児負担の軽減という視点で捉えるのではなく、パパならではの子育てという視点で捉えることにより、豊かな人間性と創造性を養い、心身ともに健やかな子どもを育成することを目指します。</p> <p>さらに、イクパパサロンや、地域を巻き込んだ防災訓練などを通じて、地域と子育て家族、父親同士の交流と、コミュニケーションの輪をはぐくむことで、子育て環境の充実を図り、子育てのしやすい地域社会を構築することを目的に事業を実施します。</p>	

この欄では、団体の抱える課題ではなく、地域課題について問いかけています。
ポイント①に留意しながら記入してください。

この欄では、地域における課題解決や、よりよいまちづくりを目的とした活動であるか否かが焦点となります。
例えば、事業を実施する目的に「団体の運営基盤の確立」もありますが、事業後の展開(P5/8)に記入するものであり、事業の目的欄に記入するのは適当ではありません。
団体の運営基盤が確立され、事業が実施されることで、どのような公益性(ひろく市民の利益になること)が生まれるのか、ポイント②～④に留意し、公益性を意識しながら記入してください。

事業内容

※地域課題の解決や住みよいまちづくりに向け、どのような活動を展開していくのか、活動の目的や目標に沿って、具体的かつ簡潔に記入してください。

★イクパパ・イクファミキャンプ・・・年2回（夏・冬）開催

わんぱく育児をコンセプトに、金勝山他で家族全員が楽しめるキャンプを開催。
飯ごう炊飯やテント張りなど、父が子と一緒に楽しめるプログラムを提供します。
また、子育てする家族同士の親睦の輪を深めるために、キャンプファイヤーなどのレクリエーションを実施します。
さらに、木工体験などの自然活動を通じて環境保護の大切さを、イクパパによる料理を通じて食育の大切さについても学びます。

★家族みんなde防災訓練

地域消防団と連携して、子どもが家にいるとき、学校にいるとき、父が職場にいるとき、様々な場面を想定しながらの防災訓練を実施します。

★イクパパサロンの開設

父親同士が悩みを打ち明けたり交流を持つ場として、毎月土曜日にパパさん限定のサロンを開設します。

※同様の活動で継続申請の場合は、昨年度の活動内容を検証して、さらに自立に向けてステップアップしようと考えている内容を記入してください。（必須）

これまでの活動に加え、活動の成果を広く知ってもらい、イクパパ、イクファミの輪を広げるためシンポジウムを開催します。（〇〇財団の助成金・会費による開催）

また、イクパパサロンを充実させるため、外部アドバイザーを招いての、お話し会を開催します。

さらに、団体の自立に向け、現在受けている〇〇財団の助成金のほかに申請できる制度がないか検討します。

事業スケジュール

月	実施内容
4月	イクパパサロン【第二土曜】外部アドバイザーを招いてのお話し会
5月	イクパパサロン【第二土曜】
6月	イクパパサロン【第二土曜】
7月	イクパパサロン【第二土曜】
8月	イクパパサロン【第二土曜】 イクパパ・イクファミキャンプ（飯ごう炊飯・森林体験など）
9月	イクパパサロン【第二土曜】外部アドバイザーを招いてのお話し会
10月	イクパパサロン【第二土曜】 スタッフ会議（来年度の事業実施に向けての助成金申請についての検討会）
11月	イクパパサロン【第二土曜】 家族みんなde防災訓練
12月	イクパパサロン【第二土曜】
1月	イクパパサロン【第二土曜】 イクパパ・イクファミキャンプ（家族で鍋を楽しもう・冬のハイキング登山）
2月	イクパパサロン【第二土曜】 イクパパ・イクファミ★シンポジウム
3月	イクパパサロン【第二土曜】

4. 助成事業後の展開

効 果	<p>※活動実施後に、地域課題の解決等に向け期待できる成果や、地域のまちづくり活動にどのような波及効果があるのか、具体的に記入してください。</p> <p>イクパパ・イクファミキャンプを実施することで、家族の絆やコミュニケーションの輪が広がり、男女共同参画社会の形成に繋がっていきます。</p> <p>また、母親と父親がともに子育てに参画することは、子どもの価値観やものの見方の多様性を育み、豊かな人間性の醸成に繋がっていくと考えます。</p> <p>さらに、イクパパサロンを開設することで、父親同士のコミュニケーションの輪を生み出し、より良い子育て環境の形成に寄与すると考えます。</p> <p>父親同士が悩みを分かち合い、子育てのアイデアを出し合っていくことは、自然と育児のための時間をつくろうという気持ちを生み出すことにも繋がり、仕事の効率性や職場でのコミュニケーション能力の向上に寄与する効果も期待できると考えています。</p> <p>その他、地域の消防団と連携しての防災訓練や父親によるシンポジウムを開催することで、社会全体で子育てをするという感情が生まれ、子どもを取り巻く環境の向上に繋がると考えています。</p>
<p>3. 事業計画(P2/8)のポイント①～④をふまえ、広く市民にどのような効果があるかを意識しながら記入してください。</p>	

展 開	<p>※この補助金は、活動の自立に向けたステップアップを助成するものです。最長3年の継続申請ができます。</p> <p>活動を継続していけるように、助成事業終了後、どのような方法で活動を展開していくのか、財源の確保策、事業規模や実施体制について計画を記入してください。</p> <p>活動を広く知ってもらうための宣伝費（チラシ・HP維持にかかる費用）や、子育てのコツを会得するためのアドバイザーなどにかかる費用については、企業の助成金制度などを利用したいと考えています。</p> <p>そのため、助成制度を上手に利用するための講座などを受講し、スタッフの能力向上に努めていきます。</p> <p>また、シンポジウムやサロンを通じて、活動に賛同してくれる人を発掘し、ボランティアとして協力してもらえよう働きかけ、実施体制の強化にも努めていきます。</p> <p>現在は活動の規模的にも任意団体であるほうが動きやすいので考えていませんが、今後の活動の広がりや実施したい事業内容によってはNPOの立ち上げも視野に入れているため、今からNPO支援団体の開催する講座などに積極的に参加していきます。</p>
-----	--

5. 事業予算書

【収入】

科目	内 訳	金 額
補助金 対象経費の3/4以内	栗東市市民社会活動促進基金補助金	200,000 円
自己資金 (会費等)	会費 2,000 円×35 名 講師謝金 25,000 円	95,000 円
事業収入 (受益者負担金)	キャンプ参加費 2,000 円×20 家族	40,000 円
その他	〇〇財団 LWB 助成金 20,000 円	20,000 円
収入合計		355,000 円

対象経費(支出合計)の3/4にあたる金額を計上してください。
3/4にあたる金額が20万円を超える場合は20万円と記入してください。

支出項目は、経費の内容がわかるように項目ごとに細かく記入してください。

【支出】

科目	内 訳	経 費	
		補助金充当外額	補助金充当額
人件費		円	円
報償費	シンポジウム講師謝金 10,000 円 イクパバサロン講師謝金 5,000 円×2	円	20,000 円
旅費交通費	講師旅費 JR 京都～草津 410 円×2 講師打ち合わせ旅費 18 円×10km	円	1,000 円
消耗品費	コピー用紙 2,000 枚 事務用品・キャンプ用品・救急用品など	円	62,000 円
印刷製本費	イベント案内チラシ印刷代 3,000 枚 イクパバサロンパンフレット印刷代 5,000 枚 コピー代	円	60,000 円
食糧費及び食材費	シンポジウム講師賄い 500 円 イクパバサロン講師賄い 250 円×2 (対象外経費 スタッフ会議お茶代 100 円×50 本)	5,000 円	1,000 円
光熱水費		円	円
通信運搬費	イクファミキャンプ参加者への案内郵便代 82 円×50×4=8,200 円 イベントチラシ郵便代 82×200=16,400 事業物品送料11,400 円	円	36,000 円
手数料		円	円
保険料	ボランティア保険及び 200 円×30 人 イベント保険料 1,000 円×4 回	円	10,000 円
委託料		円	円
使用料及び賃借料	キャンプ施設使用料 30,000 円 シンポジウム会場利用料 30,000 円 防災訓練備品リース代 40,000 円	円	100,000 円
材料費	事業案内看板作成にかかる材料代 (アルミ複合板、木材、ネジなど)	円	10,000 円
その他		円	円
対象外経費	使用料及び賃借料 事業所テナント代 50,000 円	50,000 円	
		円	
		円	
支出合計		55,000 円	300,000 円

補助対象経費のうち補助金を充てる予定の項目に金額を記入してください。

補助金対象とならない経費を記入ください。

収入合計 ≥ 支出合計(補助金充当外額+補助金充当額)

※現在受けている、または受けることが決まっている他からの補助金・助成金

補助金・助成金の名称・支出先	金額（円）	使 途
〇〇財団 LWB 助成金	20,000 円	イクパパ・シンポジウムの 講師謝礼

実施体制

役 割	氏 名	この事業に必要な資格などの名称	団体での役割
この事業の責任者 スタッフ	栗東 太郎 栗太 次郎 栗東 花子 安養寺 三郎 琵琶湖 広		代表 事務局 会計 アドバイザー イクパパ・イクファミ キャンプ実施責任者

その他、協力団体や個人有資格者などの予定があれば記入してください。

親子 de 防災訓練協力団体など 〇〇自治会 消防団第〇分団 栗太 すみれ（看護師）

6. 団体について

ふりがな	こそだてらぼ すくらむ		
団体名称	子育てlab すくらむ		
ふりがな	りっとう たろう		
代表者氏名	栗東 太郎		
住所 (事務局もしくは代表者宅)	〒520-3088 栗東市安養寺一丁目13番33号(事務局宅)		
設立年月日	平成26年4月	会員数	10
設立経緯	企業向けの男女共同参画研修で知り合ったメンバーが、フェイスブックなどを通じて交流を深めるなかで、父親と母親が育児の楽しさを共有できるコミュニティをつくりたいという気運が生まれ、団体の設立に至りました。		
目的	夫婦がともに育児をすることで、情緒豊かな子どもをはぐくみ、幸せな家庭を築くことを目的としています。		
主な活動内容とその成果	イクママ・イクパパサロンの開催、子育てイベントへの参画、イクパパ・イクファミキャンプの実施、イベントへの講師派遣などの活動を行っています。 地道な活動により、少しずつではありますが、イクメン・イクファミの輪が広がり、コミュニティの形成へと向かって歩んでいます。		
過去の助成実績	栗東市市民社会貢献活動促進基金補助金(令和7年度より) 〇〇財団 助成(令和3年度より)		

7. 付属資料

※付属資料がある場合は下記項目に印を付けてください。なお、提出された資料はお返しできませんのでご了承ください。

定款、規則、会則等 ※必須

役員名簿

事業報告書(又は事業計画書)

決算書類(又は予算書)

パンフレット

ニュースレター、会報等

写真

その他 ()